



(別添)

2024年9月26日
NITE(ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

“ずぼら調理”が招く危険 ～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～ —中国5県版—

- 事故を防ぐために気を付けるポイント
- 調理前に、取扱説明書及び商品パッケージに記載されている注意事項を確認する。
 - ・禁止されている容器を加熱しない。
 - ・禁止されている食品を加熱しない。
 - ・揚げ物調理をする際は、取扱説明書に定められている油の量を守る。
 - 調理中は、その場を離れない。加熱しすぎない。
 - 調理後は、こまめに掃除する。

1. 調理家電の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報では、調理家電の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では **2019年度から2023年度までの5年間に22件**発生しており、発生状況は以下のとおりとなっています。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に調理家電の事故における「年度別・県別」事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」調理家電の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2019年度		1	3	2	1	7
2020年度		2	1	3		6
2021年度		1	1	1		3
2022年度				2		2
2023年度		2	1		1	4
合計		6	6	8	2	22

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に調理家電の事故における「被害状況別・県別」事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」リコール発生後の事故発生件数

被害状況 ^{※4}		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡		1				1
	重傷						
	軽傷						
物的被害	拡大被害		3	5	3	1	12
	製品破損		1	1	4	1	7
被害なし・不明			1		1		2
合計			6	6	8	2	22

(※) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に調理家電の事故における「事故原因区分別・県別」事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」リコール発生後の事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	1	1	1	4
B：製品及び使い方に問題があったもの				1		1
C：経年劣化によるもの				1		1
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの		1	2	1		4
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの		1	1	1	1	4
F：その他製品に起因しないもの		1				1
G：原因不明のもの（G3を除く）		2	1	2		5
H：調査中のもの			1	1		2
合計		6	6	8	2	22

2. 事故事例について

中国5県で発生した、調理家電の事故事例を示します。

○IH調理器の事故事例（消費者の不注意）

2023年7月（山口県、20歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者が揚げものモードを使用せずに鍋底の変形した鍋を使用して少量の油で揚げ物調理中にその場を離れたため、油が過熱されて発火し、出火したものと推定される。

なお、取扱説明書及び本体表示には、「火災の原因になるため、揚げ物調理中はそばを離れない。揚げものモードを使用する。油は500g(500mL)未満では調理しない。鍋底が変形した物は使わない。」旨、記載されている。

○電気こんろの事故事例（設計不良で使い方も事故発生に影響）

2019年8月（広島県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品の上に置かれていた可燃物を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

身体等が当該製品のつまみに誤って触れてスイッチが入り、当該製品の上に置いていた可燃物などが燃えたものと考えられる。

【再発防止措置】

小型キッチン等に組み込まれた電気こんろ（つまみが飛び出しているもの）については、身体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修を行っている。

3. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：三谷、弘田

電話：082-211-0411